



第1章 子育て家庭は地域が守る

I 要支援家庭とは

【地域で支援が必要な家庭＝要支援家庭の早期発見・予防が必要】

■ 子育て家庭のいま

「子どもと接した経験のないまま親になる親」、「地域で孤立している親」、「子育ての自身喪失」、「虐待の増加」などの課題があり、地域での支援が必要です。

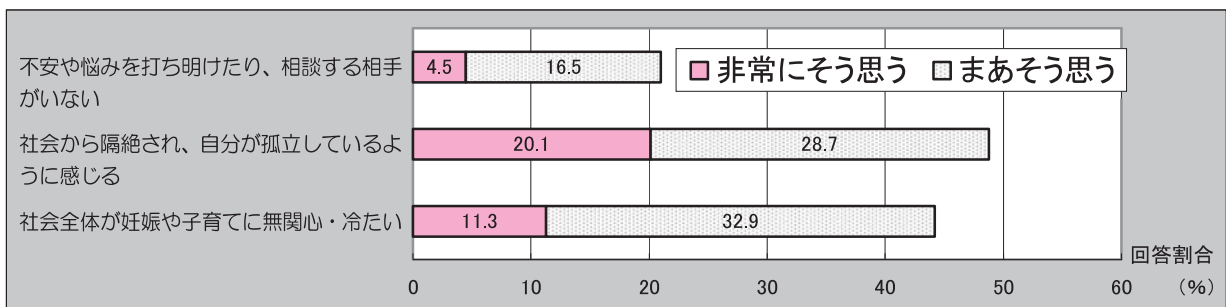
■ 要支援家庭の早期発見・予防のしくみが、地域の子育てネットワークです。ネットワークによる支援のために、4つの戦略への取組が求められています。

1 子育て家庭のいま

地域で支援が必要な家庭とはどのような家庭でしょうか？
 「子どものしつけはこれでいいの？」、「まだ寝返りができないのはなぜ？」・・・
 妊婦や子育て家庭（以下「子育て家庭」といいます。）が、出産・育児に関するさまざまな不安や問題を抱えるのは、昔もいまも変わりありません。

しかし、核家族化や少子化が進行する中で、育児経験が少ない子育て家庭が増えており、近隣関係が薄れるなど地域の養育力も低下しています（図1）。

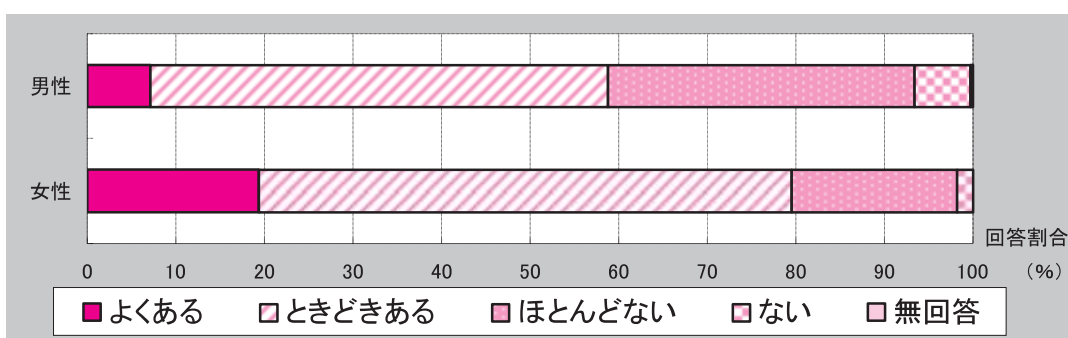
図1 地域の中での子どもを通じたつきあい



（出典：財団法人子ども未来財団「子育て中の母親の外出時等に関するアンケート調査結果」2004年）

子育て家庭は、多くの場合、家族や友人、地域と関わったり、各種メディアを活用したりしながら子育ての不安や問題を解決し、子育て経験を重ねていきます。しかし、中には育児不安を抱えたまま、子育てに対して自信を失っている家庭もあります。（図2）。

図2 子育ての自信喪失の状況

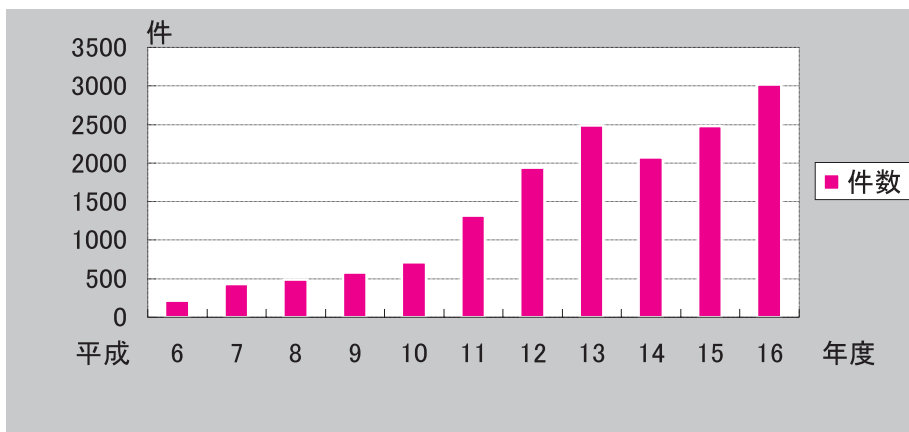


（出典：財団法人 子ども未来財団「平成15年度子育てに関する意識調査」）

子育て家庭が抱える問題に対して、保護者の状況、子どもの状況、養育環境など、さまざまな要因により、家庭の力だけでは、問題を解決できない場合もあります。

相談できる相手がない場合、保護者自身が問題に気づいていない場合、問題が複雑で解決方法がわからない場合・・・いろいろなケースがありますが、いずれにせよ、問題を解決できないまま放置すると、子育て家庭は養育困難な状況に陥ってしまう場合があります。その最も深刻な状態が虐待です。都における虐待の相談受案件数は、年々増加しています（図3）。

図3 虐待の相談受案件数



（出典：東京都福祉保健局「児童虐待の実態Ⅱ」）

子育ての不安・問題を解消し、虐待を予防・防止するために
地域全体で支援を必要とする家庭＝「要支援家庭」を早期に発見し
解決に必要な支援に結びつける必要があります。